

英語コミュニケーション力向上セミナー 実施報告書

【日 時】令和2年2月13日（木）13:30～16:00

【場 所】岐阜薬科大学本部 大学院講義室

【講 師】津田 ひろみ氏（異文化コミュニケーション学博士）

【受講者数】10名（うち女性研究者2名） 岐阜薬科大学9名、岐阜大学1名

多様性が重視される現代社会において、しだいに注目されてきている協働学習を通して、第一人者の津田ひろみ氏を講師に迎え、広くコミュニケーション力が向上されることを目的として実施した。

<プログラム>

第1部 協働的な学びの基本理念と枠組み

1. 協働学習の基本理念： 学びにおける3つの出会いと対話とは？
2. 協働学習のキーワード： 主体的に学ぶ、思考を深める、多様性の受容
3. 協働学習の効果： それぞれの段階で期待される効果とは？
4. 協働学習の進め方： まず始めに大切なこと、そして最後のまとめ



第2部 協働学習を取り入れた英語指導のコツ

1. 英語が得意でない生徒を巻き込もう！： 中学校のリーディング授業実践の紹介
2. どんな学生も活躍できる場を！： 保育専攻、美術専攻、スポーツ推薦の学生たちの活躍の紹介
3. 協働学習の輪をもっと広げよう！： 大学生と小学生の協働的な学びの紹介

第3部 協働的な学びの体験（グループで英語で活動）

第4部 協働的な学びについての振り返りと Q&A

セミナーではグループに分かれ、自己紹介でアイスブレイク。英語を学ぶ目的も語る。第1部と第2部では主に講義とグループワーク（日本語と英語）を行った。ディスカッションだけではなくアウトプットが重要であると学んだ。また協働学習は正答があるものには向かないとのこと。第3部でグループワークを行い、協働学習を受ける側として体験した。

教員には講義の参考になったようである。学生はもう少し英語でグループワークを行いたかったようであるが、協働学習を



体験できたことはよかったようである。その効果を感じながら、英語学習に対するモチベーションが上がったとの感想もあった。

英語を使う、話す、聞く、という時間は少なかったが、今後の英語学習および研究教育活動に参考になるもので、有意義な時間となった。講義終了後に講師に質問・相談をしている学生の姿があった。講師は子育てが一段落した 40 歳から学校教師として活躍し、現在に至っている。フルタイムではないが自分の生活に一番あった働き方を選択・継続しており、女子学生の刺激にもなったようである。

学習者の主体性を重視し、誰もが自由に、そして平等に発信できる協働学習では学び合いによって視野が広がるだけでなく、考えが深まり新しい気づきが生まれることも期待されている。コミュニケーション力向上を目指したが、最後に **diversity** の考え方につながったと言える。